レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年5月22日	使用開始日			
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	森本美希	化学療法委員会承認年月	平成 30 年 6 月
レジメン名	mFOLFOX6（胃がん）				
疾患名	胃がん	適応の備考	CVポート		
適応分類	進行再発、術後補助				
1コース日数	14 日間	総コース数	有効な限り コース	催吐性リスク	中等度
抗がん剤投与量・投与日	オキサリプラチン85mg/㎡day1、5－FU400mg/㎡day1、5－FU2400mg/㎡day1(46時間持続)				

治療スケジュール ・ 投 与 日 程（ 投 与 日 は ● ）　　(day)

投与順	ﾙｰﾄ・方法	薬 剤 名	投 与 量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	主ルート	生食20mL	1 本 / body		●													
	中心静脈注射																	
2	主ルート	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ1mg/50mL	1 本 / body	30 分	●													
	中心静脈注射	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●													
		ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●													
			/															
3	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間	●													
	中心静脈注射	オキサリプラチン	85 mg / ㎡		●													
			/															
	Rp3とRp 4を同時に投与開始する。																	
4	側管	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間	●													
	中心静脈注射	レボホリナート	200 mg / ㎡		●													
	Rp3とRp4を同時に投与開始する。																	
5	側管	生食50mL	1 本 / body	5 分	●													
	中心静脈注射	5-FU	400 mg / ㎡		●													
6	主ルート	生食100mL	1 本 / body	46 時間	●													
	中心静脈注射	5-FU	2400 mg / ㎡		●													
		ｲﾝﾌｭｰｻﾞｰﾎﾟﾝﾌﾟ使用																
	希釈後の液量を総量100mLとなるよう調製する																	
7			/															
	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●										
			/															
	分2 朝昼食後																	

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

p 3とRp4を同時に投与開始する。

day4のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる

day1のデキサート注は、6.6mgでもよい

デキサメタゾンを積極的に使用できない場合は、デキサメタゾンday2～4の代わりに5HT3拮抗薬day2～4を追加する

オキサリプラチン:希釈は5%ブドウ糖液のみ。

穿刺時に逆血を確認し、ポートの通過を確認すること

Rp6） 5－FU注は、インフューザーポンプを使用して投与する。